

- 問1 1997年に施行された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）」が、それ以前の政策から大きく転換した点について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アイヌの人々の居住地を北海道に限定し、伝統的な狩猟や漁業の権利のみを保障する方針に転換した。 | 2. アイヌの人々を日本人に同化させることを目的とし、日本語教育を義務づける方針に転換した。 | 3. アイヌの人々を独自の文化を持つ集団として認め、伝統や言語の振興を支援する方針に転換した。 | 4. アイヌの人々に対して金銭的な補償を行うことで、すべての歴史的課題を解決する方針に転換した。 |
|---|--|---|--|
- 問2 ニセコ町や倶知安町では、特定の時期に急増する外国人観光客の利便性を高めるため、駅から目的地までの移動手段である「二次交通」の整備などに官民が連携して取り組んでいます。持続可能な観光地づくりの先進事例として注目されているこの取り組みを何と呼びますか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|------------|
| 1. 地産地消運動 | 2. コンパクトシティ | 3. ニセコモデル | 4. エコツーリズム |
|-----------|-------------|-----------|------------|
- 問3 北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2018年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。 | 2. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。 | 3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。 | 4. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。 |
|---|--|--|--|
- 問4 夏の北海道の太平洋沿岸において、寒流の影響で湿った空気が冷やされることにより発生し、日照時間の減少や気温が上がりにくなる原因となっている気象現象を何といいますか。（2025年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 1. 濃霧 | 2. 季節風 | 3. 線状降水帯 | 4. やませ |
|-------|--------|----------|--------|
- 問5 十勝平野の畑作では、同じ土地で種類の異なる複数の作物を数年周期で順番に栽培する「輪作」が行われています。このような栽培方法をとる主な目的として、最も適切な理由を説明したものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 特定の作物を続けて作ることで発生する連作障害を防ぎ、土壌の栄養分を維持するため。 | 2. 農機の稼働時間を減らすことで、大規模経営における燃料費などのコストを削減するため。 | 3. 北海道の短い夏において、複数の作物を同時に収穫して出荷作業の効率を上げるため。 | 4. 年ごとの農作物の市場価格の変動に合わせて、最も収益の高い作物だけを育てるため。 |
|---|--|--|--|
- 問6 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 労働力集約型による小規模経営 | 2. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業 | 3. 伝統的な手作業を中心とした多角経営 | 4. 大型の機械を活用した大規模経営 |
|-------------------|-------------------------|----------------------|--------------------|
- 問7 札幌市の中心部で、道路が垂直・水平に交わり区画が整理された「格子状の街路」が採用された背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 江戸時代の城下町の構造を引き継ぎ、敵の侵入を防ぐために見通しの良い道路を配置したため。 | 2. 広場を中心に道路が四方八方へ伸びる、中世ヨーロッパの都市計画をそのまま導入したため。 | 3. 自然発生的に形成された集落が、人口増加に伴って地形に合わせて四方に拡大していったため。 | 4. 明治政府の開拓使が、広大な土地を効率的に管理・開発するために計画的な都市建設を行ったため。 |
|--|---|--|--|
- 問8 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。（2022年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 干拓 | 2. 輪作 | 3. 客土 | 4. 段々畑の造成 |
|-------|-------|-------|-----------|
- 問9 北海道の製造品出荷額等の内訳について、全国平均では約11.6パーセントにとどまる一方で、北海道では全体の約33.1パーセントと3割以上を占め、最も大きな割合となっている工業部門は何ですか。（2018年 三重県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 食料品工業 | 2. 機械工業 | 3. 金属工業 | 4. 化学工業 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問10 北海道の人口分布の変遷について述べた次の文のうち、1950年代後半から現在にかけての状況を正しく説明しているものはどれですか。統計上、札幌市の人口は1958年の約48万人から、2018年には約195万人へと、60年間で約4倍に増加しています。（2021年 宮城県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 札幌市への一極集中が進み、道内の他の地域から人口が流入することで、北海道全体の人口に占める札幌市の割合が大幅に上昇した。 | 2. 道内各都市でバランスよく開発が進んだため、札幌市以外の旭川市や函館市でも、札幌市と同等のペースで人口が増加し続けている。 | 3. 札幌市の人口は増加したものの、北海道全体の人口増加率がそれを上回っているため、道内における札幌市の人口シェアは低下傾向にある。 | 4. 1970年代以降、札幌市ではドーナツ化現象による人口減少が激しくなり、現在は1950年代当時の人口規模を下回っている。 |
|---|---|--|--|
- 問11 北海道の農畜産業や地域の特徴について説明した文として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 大都市への輸送に恵まれた近郊農業が中心で、国内航空乗客数は全国で最も少ない。 | 2. 広大な土地を生かした大規模な農業が行われ、小麦の収穫量が多く畑作や畜産業が盛んである。 | 3. 豚の飼育数は全国最多であるが、寒冷な気候のため小麦などの畑作はほとんど行われていない。 | 4. 温暖な気候を利用して米の二期作が行われ、輸送用機械器具の出荷額が全国有数である。 |
|---|--|--|---|
- 問12 冬に降水量（降雪量）が多くなる北海道の日本海側の気候の特徴と、その発生理由について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2026年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 冬に北西からの季節風が南西からの暖流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため | 2. 夏に北西からの季節風が北東からの暖流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため | 3. 夏に南東からの季節風が南西からの寒流の上を通る際に冷却され、上昇気流が生じるため | 4. 冬に南東からの季節風が北東からの寒流の上を通る際に水蒸気を含み、山脈にぶつかるため |
|--|---|---|--|